

# みんなの広場



読み聞かせの『パンダなりきりたいそう』で大きくジャンプ



本を選ぶその表情は真剣そのもの



こんな本もあります

## 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊 絵本を載せて読書の楽しさ届けます

550冊以上の絵本を載せたキャラバンカーが全国各地を巡回し、読み聞かせなどを行う『全国訪問おはなし隊』が市内5か所を訪問しました。出版社の講談社が平成11年から実施している取り組みで、訪問先はこれまでに2万か所以上。波多津保育園の園児たちは、たくさんの中からお気に入りの絵本を次々に手に取り、楽しいひとときを過ごしました。



思い思いの本を手に取り、青空の下でたくさん読みました

## 伊万里未来プランナー養成講座

### 自分の価値観を話してみよう

PORTO3316 IMARIで、伊万里未来プランナー養成講座がありました。コミュニケーションのとり方や人とのつながりを意識したワークショップ形式の講座で、1回目のこの日は市内の高校生18人が自分のストーリーを語ることにチャレンジ。緊張していた参加者ですが、話し出すと次第に笑顔もこぼれ、自分らしい物語りができたようでした。



8.19

↑順番に1人ずつ自分のストーリー（ストーリー・オブ・セルフ）を語っていく参加者

## いまりMIRA | 創業塾

### 応援します。あなたの創業

いまりMIRA | 創業塾が開講し、第1回目の講義が伊万里商工会館でありました。これは、創業・開業を考えている人を支援しようと、市と伊万里商工会議所が実施しているものです。この日は、中小企業診断士で自身も会社経営に携わる齊藤久美さんが、14人の受講者を前に、創業の心構えと基礎知識についての講義を行いました。



↑具体的な創業の時期を考えているかを問う齊藤さん



第 47 回市老人福祉大会

高齢者の力で地域を元気に

市民会館で市老人福祉大会がありました。これは『のぼそう！健康寿命 担おう！地域づくりを』をテーマに、生きがいづくりや交流の拡大を目的に毎年開催されているものです。大会は式典と講演、演芸発表の3部で構成。演芸発表では各団体・個人による歌や踊りが披露されました。会場には書や工芸などの作品も展示され、来場者を楽しませていました。



それぞれに趣向を凝らした演芸が披露されました



↑細かい細工が施された会員の力作に感心する来場者

第 54 回市小中学校夏季創作品展

力作ぞろいの作品を多数展示

市民センターで市小中学校夏季創作品展がありました。夏休みや技術・家庭科の授業で創作した習字、絵画、工作、調査研究など、児童・生徒の作品約 1,300 点を展示。個性あふれる作品で彩られた会場には家族連れなど多くの方が訪れました。子どもたちは、所狭しと展示された中から自分の作品を見つけ、満足げな様子で見入っていました。



↑どれも力作ばかりの作品の数々

カブトガニの幼生を放流

大きくなって必ず帰ってきてね

木須町の多々良海岸で、牧島小学校6年生の6人がカブトガニの幼生を放流しました。この日放流したのは60匹ほど。伊万里高校の理化・生物部から幼生を譲り受け、水温や塩分濃度に気をつけながら大切に飼育してきた子どもたちは、「大きくなった姿を見たいと思いながら育てました。必ずまた帰ってきてほしい」と話していました。



波打ち際で紙コップに入った幼生を放流する児童



↑既にカブトガニと分かる形をしている幼生。今回は放流の時期が遅かったため、例年より大きく育っている

2018 同和問題講演会

いじる＝いじめるという感覚を持って

8月の同和問題啓発強調月間の取り組みとして市が毎年実施している同和問題講演会が市民センターでありました。落語家の桂ほんぼ娘さんが、『なぜ、差別はなくなるの？～元いじめられっ子からのメッセージ～』と題して講演。学生時代にいじめられていた経験をもとに、正しい人権感覚を持つことの大切さを訴えました。



↑いじめの集団心理の怖さを訴える桂さん